

鳥取県へリテージマネージャー養成講座

日時 平成 28 年 10 月 15 日（土）10：30～12：00

場所 鳥取市歴史博物館 研修室

講師 木谷清人（鳥取市歴史博物館館長・早稲田大学理工学研究所嘱託）

題目 歴史的建造物 調査方法及びまとめ方

1. 調査方法について

2. 所見の書き方

3. 鳥取県の登録文化財調査のための主な基本図書一覧（主に近代建築）

4. その他

【プロフィール】木谷清人（きたにきよひと）

1952 年：鳥取市生まれ 1975 年：早稲田大学工学部建築学科卒業 1976 年：帰鳥

現在：（有）環境計画 代表取締役 早稲田大学理工学研究所嘱託・米子高専建築学科非常勤講師
（公財）鳥取民藝美術館常務理事 （公財）鳥取市文化財団理事長 鳥取市歴史博物館館長
1 級建築士・設備設計 1 級建築士

著書：『鳥取建築ノート』（共著）『吉田璋也・民芸のプロデューサー』（編集委員）

『県民の建物 100 選』（選定・調査・編集委員） 『吉田璋也の世界』（編・分担執筆） 他

研究：『立川町吉田医院及び自邸の建築学的研究－吉田璋也の初期民藝運動における建築－』（2010.3）

『今西家書院及び志賀直哉旧居－吉田璋也の初期民藝運動における建築への影響』（2010.9）

『鳥取民藝美術館の研究－吉田璋也の後期民藝運動における研究（その 1）－』（2011.3） 他

登録文化財調査・所見：「桜寛苑（旧金田家住宅）」「五臓圓ビル」「有隣荘」「鳥取民藝美術館」「興禅寺
本堂」「立川稲荷」「米原家住宅」

作品：設計監理『せっちゃんたちの家』（RC2F・専用住宅）『大村塗料』（S2F・事務所倉庫）

住所：〒680-0841 鳥取市吉方温泉 1-123 E-mail kitani@hal.ne.jp

1. 調査方法について

① 事前調査

- (ア) 総覧等の掲載の有無・既往調査歴の有無（建築士会・郷土史家・学芸員・大学など）
- (イ) 建造物の歴史的背景や古地図（市町村史などが有効）
- (ウ) 調査票の準備

② 現地調査 調査票に調査実施日・調査者を記入

- (ア) 聞き取り調査 所有者・近隣（氏名・生年月日等も聞き取る）
 - ・伝聞か証拠があるか
 - ・室名
 - ・使用人の有無
 - ・昔の所在地
 - ・昔の名称や用途
 - ・家業
 - ・風習
- (イ) 資料調査 棟札、家相図、普請帳・設計図等の文書類の有無（撮影等の可否）
- (ウ) 実測調査 敷地配置図（出来れば屋根型入り） ・平面図（精度 1/100 以上）
痕跡調査
- (エ) 写真撮影 外観・内観・部分詳細

③ 文献調査

- (ア) 藩史・県史・市町村史・団体史・興信録・家譜・その他地誌等
 - (イ) 地元紙（因伯時報・鳥取新報・日本海新聞）
 - (ウ) その他
- ※主な基本図書一覧参照

歴史的建造物調査票

名称 (ふりがな)		建築年月日		資料	
所在地 〒 -		裏付け:		図面: 設計図・平面図・立面図・断面図 敷地配置図・矩計図・詳細図・絵図	
所有者名 (管理者)		設計者	施工者	文献: 固定資産目録・建設記録・新聞記事・雑誌	
住所 〒		裏付け:		県史・市町村史・その他 ()	
電話		創立・沿革		資料: 棟札・普請帳・古写真・家相図・家系図	
種別・構造種別 (建造物・)				その他 ()	
種別				付属屋 (別紙 有・無)	
産業1次	農業・漁業・林業・農業用水・煙草栽培・()			所見・評価	
産業2次	鉱業・工業・繊維・酒・味噌・醤油・工業組合・()				
産業3次	店舗・銀行・薬局・旅館・レストラン・商業組合・運輸 ()				
交通	駅舎・鉄道・道路・港湾・()				
官公庁舎	県庁・市役所・役場・裁判所・警察署・郵便局・電話局・()				
学校	小中学校・高校・大学・幼稚園				
生活関連	上下水道・電気・ガス・発電所				
文化福祉	図書館・博物館・公会堂・劇場・迎賓施設・病院・浴場・保育所・()				
住宅	農家・町家・住宅・別荘				
宗教	寺院・神社・教会				
治山治水	堰堤・砂防・水路工				
その他	旧陸軍・旧海軍・船舶				
員数種別	住宅	修理・改造履歴 (年代・内容・復原考察)			
	神社				
	寺院				
	その他				
構造形式	木造・RC造・鉄骨造・()	屋根形式		屋根葺材	
	階数 () 階	切妻造	宝形造	本瓦葺	葺瓦葺
	梁間 () 間 () m	入母屋造	寄棟造	檜皮葺	こけら葺
	桁行 () 間 () m	平入り	妻入り	茅葺	銅板葺
		陸屋根 ()		その他 ()	
意匠の特徴 (外観・内装など)		保存活用に対する所有者の意向			
構造・材料の特徴 (和釘の使用 有・無) (用材)		保存状況: A 良好・B 普通・C 不良・D その他 Dの場合具体的に ()		調査年月日	調査者

3. 「所見」の書き方

【執筆前の準備】

(1) 登録候補建造物ごとに記述する

例) 主屋・離れ・蔵・門・土塀 5件

- ・登録候補建造物の件数分けは事前に協議しておく。
- ・実査の時に文化庁担当者と協議するとよい。
- ・所有者の意向も踏まえる。

(2) 1件につきA4用紙1枚にまとめる

- ・件数が複数の場合は立地・建築主に関する情報などは繰り返し書かないで、主たる建造物など最初にまとめる重複は避ける。

(3) 登録基準を執筆前に見定める(3つの基準のうち何れかに該当)

登録有形文化財登録基準(平成17年3月28日 文部科学省告示第44号)

建造物の部

建造物、土木構造物及びその他の工作物(重要文化財及び文化財保護法第182条2項に規定する指定を地方公共団体が行っているものを除く。)のうち、原則として50年を経過し、かつ、次の各号のいずれかに該当するもの

① 国土の歴史的景観に寄与しているもの

- ・特徴的な愛称等で、広く親しまれている場合 例) ○○○の洋館
- ・その土地を知るのに役立つ場合 例) 地名の由来になった建造物など
- ・絵画などの芸術作品に登場する場合 例) 浮世絵・歌謡曲の題材など

② 造形の規範となっているもの

- ・デザインが優れている場合 例) ゴシック様式の教会
- ・著名な設計者や施工者がかかわった場合 例) 村野藤吾設計
- ・後に数多く語られるものの最初の作品 例) 大正期の文化住宅
- ・時代や建造物の種類の特徴を示す場合 例) 茅葺屋根の農家

③ 再現することが容易でないもの

- ・優れた技術や技能が用いられている場合 例) なまこ壁の住宅、優れた欄間彫刻を持つ書院
- ・現在では珍しくなった技術や技能が用いられている場合 例) 黒漆喰の町家
- ・珍しいデザインで、他に同じような例が少ない場合

(注) 国重要文化財の指定基準はやや異なるので注意

建造物、土木構造物及びその他の工作物のうち、次の各号の一に該当し、かつ、各時代又は類型の典型となるもの

- (1) 意匠的に優秀なもの
- (2) 技術的に優秀なもの
- (3) 歴史的価値の高いもの
- (4) 学術的価値の高いもの
- (5) 流派的または地方的特色において顕著なもの

【記載事項】

(1) 敷地の位置及び周辺的环境

例) 宿場町であった旧〇〇町(現〇〇市)の街道の往来に位置し…

例) 〇〇城内堀に面し旧武家地の中でも家老など上級武士の居住区に位置し…

(2) 建築に至る経緯及び歴史的背景

例) 職業・家柄など 近世は大庄屋として… 師範学校教員として…

例) 建築の経緯 〇年の大火で焼失したので建替え… 隠居の為の別邸として…

(3) 敷地の形状・配置

例) 敷地は山裾からなだらかに下る… 二街道の交わる角地にあり…

例) 南面する長屋門から前庭・主屋へと… 敷地北側に3棟の蔵を配し…

(4) 構造、階数、屋根型、小屋組み、屋根葺材、外装仕上げ

例) 鉄筋コンクリート造3階建て陸屋根、外壁はスクラッチタイル張りで…

例) 木造2階建て入母屋造り棧瓦葺きで外壁は真壁白漆喰仕上げで…

例) 小屋組みはキングポストトラスで洋小屋とし…

(5) 建築年代、改修・増築の履歴(登録候補建造物ごとに書く、年代の根拠を書く)

例) 棟札によれば明治〇年の建築で…

例) 課税台帳によれば大正〇年の建築で…

例) 設計者〇〇作品集の一覧表によれば昭和〇年の建築で…

例) 因伯時報〇年〇月〇日の記事によれば〇日に竣工式を挙行し…

例) 嗣子の婚姻に際し大正〇年頃北側に離れを増築し…

例) 銅板葺であったものを、平成〇年銅鍍金ステンレス鋼板に葺替え…

(6) 設計者・施工者

例) 当時の設計図が現存し村野藤吾が設計したことがわかり…

例) 棟札によれば〇〇を棟梁とし建築したもので…

(7) 特徴

① 間取り

例) 一階は東に土間、西に2列の六間取り。西側の南面する中央を仏間とし…

㊦奥、表、裏、隣、等は極力使わない。使う場合「〇〇を表とし」と予め断る。

例) 本堂は霊壇、高間、次ノ間、御拝ノ間、拝殿、向拝を一体とし…

㊦室名は平面図の室名に合わせる。

② 様式

例) 竣工時の新聞では「近世ゴシック式」とあり当時流行したネオ・ゴシック…

例) 本殿は因幡地域で最も多くみられる流造りで…

例) 銀行建築で多用された新古典主義により…

③ 部分詳細

床、壁、天井、建具、窓、書院などの様式・形状及び素材

例) 付書院のある床の間… 竿縁天井は床差しで… 床脇に火灯窓を配し…
床の間、建具、敷台、暖炉、照明器具、欄間、長押、釘隠し…

例) 座敷は長押を巡らし六葉釘隠しを付し、松鷹透かし彫りの欄間を有す…
ペディメント、キャピタル、持ち送り、煉瓦の積み方、鬼瓦、棟飾り、鍔絵…

例) 櫛形破風に〇〇のエンブレムを付し… 腰は七宝海鼠壁とし…

(8) 総括

主たる特徴を述べ当該建造物が登録基準のどれに当てはまるか記す。

例) 大名の御霊屋の系譜に連なる貴重な遺構であり、造形の規範になっている建造物と認められる。

【写真の撮り方】

- (1) 2次利用等があるので著作権に問題のないものとする。
- (2) 外観は2点以上とする。全部で10点程度(例えば、A4版3点×4頁＝12点)
- (3) 人物や車両など邪魔なものは極力避ける。
- (4) 日付は入れない。
- (5) 芸術写真ではなく説明的な写真であることを心がける。(何の写真か)
- (6) 所見等に記された様式・部分・特徴などが説明できるように撮影する。
- (7) 垂直・水平に気を付ける。
- (8) 明暗・コントラスト・色温度をバランスよく。
- (9) 棟札がある場合は必ず入れる。

【総覧】

- 日本建築学会編『新版 日本近代建築総覧』技法堂出版，1994年
土木学会土木史研究会編『日本の近代土木遺産 改訂版』丸善，2005年
産業考古学会『日本の産業遺産 300選』（全3巻）同文館，2003～2004年
『総覧 日本の建築』（全10巻）新建築社，1986～1988年
『近代建築ガイドブック（北海道・東北、関東、東海・北陸、関西、西日本）』鹿島出版会，1982～1985年
『日本の街並み調査報告集成』（全17巻）東洋書林

【ハンドブック】

- 文化庁監修・太田博太郎他『民家のみかた調べかた』第一法規，初版 昭和1967年
文化庁編著『建物の見方・しらべ方 江戸時代の寺院と神社』ぎょうせい，1994年
日本産業遺産研究会・文化庁編著『建物の見方・しらべ方 近代産業遺産』ぎょうせい，1998年
文化庁編著『建物の見方・しらべ方 近代土木遺産の保存と活用』ぎょうせい，1998年
西ヶ谷恭弘編著『城郭建築の見方・調べ方』東京堂出版，2008年
下村健治『寺院・神社・住宅の見学必携〔総合編〕』コロナ社，1998年（注）一般向け

【建築語彙集】

- 中村達太郎『日本建築辞彙〔新訂〕』中央公論美術出版，2011年
日本建築学会編『日本民家語彙解説辞典』日外アソシエーツ，1993年
綜芸舎編集部編『日本古建築細部語彙 社寺編』綜芸舎，1970年（注）一般向け

【テキスト】

- 日本建築士連合会『地域の歴史的建造物の保全・活用に係る専門家育成のための研修テキスト』2010年

【鳥取県関係】

- 鳥取県教育委員会文化課編『鳥取県の民家』，鳥取県教育委員会，1974年
鳥取県教育委員会文化課編『鳥取県の近世社寺建築』，鳥取県教育委員会，1987年
奈良国立文化財研究所編『鳥取県の近代化遺産』，鳥取県文化財保存協会，1998年
奈良文化財研究所・鳥取県教育委員会編『鳥取県の近代和風建築』，鳥取県教育委員会，2007年
朝日新聞社鳥取支局編『鳥取建築ノート』，富士書店，1991年
編集委員会編『増補新訂版 とっとり建築探訪 県民の建物百選』，鳥取県建築士会，2008年
木島幹世『失われゆく古民家』，あむる，2014年

【日本近代建築史】

- 日本建築学会編『近代日本建築学発達史（復刻）』文生書院，2001年（丸善，1972年）
村松貞次郎『日本の建築 明治大正昭和（1～10）』三省堂，1979～1982年
稲垣栄三『日本の近代建築（上・下）』SD選書，鹿島出版会，1976年
村松貞次郎『日本近代建築の歴史』岩波文庫，2005年（NHKブックス・1977年）
藤森照信『日本の近代建築（上・下）』岩波新書，1993年
青田清蔵『日本の近代住宅』鹿島出版会，1992年
村松貞次郎他『近代和風建築』鹿島出版会，1988年
『日本の建築家』（新建築臨時増刊）1981年

【地域史】

- 『鳥取藩史』、『鳥取県史』、各市町村史、地元紙（因伯時報・鳥取新報・日本海新聞）、『鳥取県大百科事典』、
『鳥取大火災誌』、『鳥取県神社誌』、『因幡人事興信録（大正12年、昭和12年、昭和26年）』、『日本地名
大辞典 31 鳥取県』、『鳥取県の地名』、ほか